

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等名称 (製品名)	エアクレンス FC-H88P
会社名	日本ケムトレックス株式会社
住所	〒174-0043 東京都板橋区坂下 1-39-13 甲子ビル5F
電話番号	03-3430-1139
FAX番号	03-5761-5265
緊急連絡先電話番号	03-3430-1139
推奨用途及び使用上の制限	消臭剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性：区分3 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分2B 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)：区分3
環境に対する有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

軽度の皮膚刺激

軽い眼刺激

呼吸器刺激を引き起こす恐れあり

注意書き

【安全対策】

取り扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護マスクを着用すること。
蒸気、スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること

【応急処置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断、手当てをうけること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させる。
 換気の良い所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
【保管】
【廃棄】 内容物や容器は、関係法令に基づき適正に処理すること。

3. 組成及び成分情報

単一物質または混合物の区分 混合物
 化学式または一般名 アミド硫酸アンモニウム、グアニジン系化合物、無機塩、PEG
 (ポリエチレングリコール)、リンゴ酸、ノニオン系界面活性剤、精製水

成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）

成分	重量%	CAS No.	官報公示整理番号
アミド硫酸アンモニウム	5	7773-06-0	1-404
グアニジン系化合物	16～18	1937-19-5	—
無機塩		非公開	非公開
PEG(ポリエチレングリコール)		25322-68-3	7-129
リンゴ酸	0.6 以下	6915-15-7	(2)-1442
ノニオン系界面活性剤	0.4 以下	非公開	7-97
精製水	76-79	7732-18-5	—

危険有害成分 アミド硫酸アンモニウム (5%)
 ・労働安全衛生法 通知対象物 政令番号 第 20 号
 表示対象物 政令番号 第 20 号【H28.6.1 施行】

危険有害不純物 該当情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。
 皮膚に付着した場合 付着又は接触部を石鹼水で洗洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。皮膚刺激がある時は、医師の手当てを受けること。
 目に入った場合 速やかに清浄な水で15分間以上洗眼する。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合 水でうがいをする。多量に飲み込んだ場合は、水をのませ吐かせるなどの処置をし、異常があれば医師に相談する。
 応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

この製品自体は、燃焼しない。

消火剤	水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤	特になし
特定の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散廃して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際は適切な保護具を着用し、飛散した物等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。

環境に対する注意事項 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないよう注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されず環境へ流出しないように注意する。

回収、中和 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。取扱い後は、手洗い、洗顔、うがいなどを行うこと。漏れ、溢れ、飛散しないよう注意し、容器は密閉しておく。

局所排気・全体換気 取扱いは換気の良いところで行う。換気の悪いところでは局所排気装置を設置する。

注意事項 容器を転倒させたり、落下させたり、引きずり等しない。

保管

技術的対策 容器を密閉して換気の良いところで貯蔵する。

適切な保管条件 直射日光を避け、冷暗所に保管する。

混触危険物質 強酸化剤

安全な容器包装材料 ポリエチレン容器など錆の発生を防ぐ容器を使用する。

8. 暴露防止措置及び保護措置

設備対策 取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度、許容濃度 設定されていない

保護具：

呼吸器の保護具	保護マスクを使用する。
手の保護具	保護手袋を使用する。
目の保護具	安全ゴーグル型保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	保護前掛け、保護長靴、保護衣などを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	淡黄色透明液体
臭い	微香
pH	6.7±1.0 (25°C)
融点	データ無し
沸点	データ無し
引火点	なし
発火点	なし
爆発限界	データ無し
蒸気圧	データ無し
蒸気密度	データ無し
比重	1.104±0.05 (25°C)
溶解性	水に溶解
オクタノール／水分配系数	データ無し
その他のデータ	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件では安定。
危険有害反応の可能性	通常取り扱いにおいては危険な分解や重合は生じない。
避けるべき条件	データ無し
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	分解によりアンモニア、炭素酸化物、窒素酸化物、硫黄酸化物 HCLを生じる。

11. 有害性情

急性毒性（経口）	データ無し
皮膚腐食性／刺激性	使用材料に基づき軽度の皮膚刺激（区分3）とした。 但し分類 JIS では区分外である。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	使用材料に基づき軽い眼刺激（区分2B）とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	使用材料に基づき区分3（気道刺激性、麻酔作用）とした。
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	データ無し
吸引性呼吸器有害性	データ無し

12. 環境影響情報

生態毒性	データ無し
残留性／分解性	データ無し

生体蓄積性	データ無し
土壌中の移動性	データ無し
他の有害影響	データ無し

13. 廃棄上の注意

紙やウエスなどの可燃物に吸収させて焼却するか、少量であれば多量の水で洗い流す。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	非該当
国連番号	非該当
品名	非該当
海洋汚染物	非該当

国内規制

陸上輸送	特段の規制なし
海上輸送	特段の規制なし
航空輸送	特段の規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に洩れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

直射日光を避ける。

漏出時は“漏出時の措置”の項を参照のこと。

15. 適用法令

消防法	非該当
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (政令番号 第 20 号「アミド硫酸アンモニウム」、対象重量% \geq 1 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 名称等を表示すべき危険物及び有害物【平成 28 年 6 月 1 日から施行】 (政令番号 第 20 号「アミド硫酸アンモニウム」、対象重量% \geq 1 (法第 57 条、施行令第 18 条第1号別表第 9)
毒物及び劇物取締法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

16. その他の情報

文献

各法令集、その他

ここに示す情報は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて誠意を持って作成しておりますが、記載のデータや評価に関していかなる保証をなすものではありません。また新しい知見に基づいて改訂される場合があります。全ての化学物質には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。御使用者の各位の責任において、安全な使用条件を設定下さいますようお願い致します。また特別な取り扱いをされる場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いをお願い致します。